



ロータリーは  
機会の扉を開く

# Weekly Report 2020-2021

会長：辻隆志 / 幹事：吉本委子 / 会長エレクト：低田陽介 / 副幹事：江島繁夫 / S.A.A：遠藤直樹

創 立 1969年4月14日  
認 認 1969年4月23日  
チャーターナイト 1969年11月9日  
発 行 IT・広報委員会

今週のプログラム	第2462回	7月17日
クラブ協議会		
担当者	会長・幹事・各委員長	例会場 JRクレメントホテル高松

先週のプログラム	第2461回	7月10日
クラブ協議会		
担当者	会長・幹事・各委員長	例会場 JRクレメントホテル高松



社会長挨拶



吉本幹事報告



低田クラブ奉仕委員長



堀井職業奉仕委員長



遠藤S.A.A.

## 社会長挨拶

先週は会長幹事慰労激励会ありがとうございました。お陰様で、楽しくスタートを切ることが出来ました。3次会では金光さんのお金儲けの話とか(笑)、皆様とお話するのが楽しすぎて、少し飲みすぎてしまいました。

今週の月曜日、吉本さんからメールが来まして、金光さんが新聞に載っていますよ、との連絡がありました。何事かと思いきやすぐに新聞を読んでみますと、すごくいい事をしている記事でした。金光さんは香川ベトナム平和友好連絡会議の会長を務めていて、このコロナの影響でアルバイトが減り、生活苦を抱えている学生さんが多くいるという事で、ベトナム大使館に支援の依頼をし、ベトナムの留学生134人に一人あたり20キロのお米が届いたとのこと。お金儲けも上手な金光さんですが、一方ではこういう奉仕活動も行っているという事で、見習わないといけないなど、思わされた記事でした。

話は変わりますが、今週テレビを見てみたら、結婚式場のニュースが流れていました。結婚式場はこのコロナの影響で、9割以上売り上げが減っているとのこと。これではいけないという事で、オンライン結婚式というサービスを始

めたようです。結婚式場のスタッフの方が撮影し、ケーキ入刀などの催しもされていました。一番驚いたのは、ご祝儀もキャッシュレスで行うという事です。結婚式がオンラインというのも寂しいですが、このコロナ禍で、新しい生活様式という中、新たな発想の事業も考えていかなければならぬのだろうと感じました。

今日はクラブ協議会です。このコロナでFSMもあまりできない中、活動計画を作成していただきありがとうございました。また、無理を言って委員長さんになっていただいた方もたくさんおられます。今日はどうぞよろしくお祈りします。

## 吉本幹事報告

- ・バギオ通信、ロータリー全国囲碁大会案内状を回覧します。
- ・今週の週報にIT広報委員会の大西さんが「しくじった話」として早速寄稿下さっています。1年間ぜひ会員の皆さんからの1人1回の寄稿を頂き、お互いの事を知り合い仲良くなっていければと思います。

## メイクアップ

7月2日 北海道2500ロータリーEクラブ 佐久間

7月17日 今日は何の日	今日生まれの有名人
京都八坂神社祇園祭/漫画の日 1868年 江戸を東京と改称 1945年 ボツダム会議開催	1957年 大竹しのぶ 1947年 荒俣宏 1932年 青島幸男 1922年 丹波哲郎 1933年 淡路恵子 1604年 徳川家光
誕生花	インペリアルス、花言葉は“人を喜ばせる”
誕生石	マラカイト(malachite)、宝石言葉は“再会”

それでこそロータリー
どこで会っても やあとやおうよ 見つけた時にゃ おいと呼ぼうよ 遠いときには 手を振り合おうよ それでこそ ローローロータリー

例会場 JRホテルクレメント高松  
高松市浜ノ町1番1号  
TEL(087)811-1111

例会日:毎週金曜日 12:30~13:30 (第1例会のみ 18:30~19:30)

今週の週報はこちらで見ることが出来ます。(Adobeのアクロバットリーダーが必要です)  
<http://www.88club.com/rc/2020pdf/07-17.pdf>

事務所  
高松市西の丸町10-15  
高松ホテル旅館料理協同組合内  
TEL(087)851-2661 FAX 851-2662

ニコニコBOX

先週はありがとうございました。 辻  
 お久しぶりです。江島さん、マスクにアルコールありがとう 藤田  
 ございました。助かりました。この春から長男が医師として  
 大阪で勤務しております。  
 辻・吉本体制にエールを贈ります。 野口  
 ご無沙汰しております。 佐久間  
 早退 1件

合計 5 件

本日の合計	28,500円
2020-2021年度累計	211,500円

出席報告 出席委員長：岡田和幸

会員数 / 51名	出席規準数 / 49名
出席者数 / 30名	欠席者数 / 19名
出席率 / 61.22%	ビジター / 0名
最終出席率 / 6月26日 57.14%	→ 66.00%

会員寄稿

コロナ禍のテレワーク？

岡田 和幸

コロナ禍の中で3月頃より在宅ワークやテレワークと言われているのですが、私の事務所は自宅の一角にあるために普段からテレワークのような感じです。

何日も事務所にもって一人で仕事をしているとストレスもたまってくるので気分転換のために家庭菜園をやっています。

時間のかかる、耕したり苗を植えたりするのは土日で行いますが、平日でも気分転換に仕事の合間や昼食時などに世話をしています。

ここ最近では雨が続き世話ができていなかったのが草か野菜かわからない状態になっていますが野菜はちゃんとできています。グリーンカーテンのためのゴーヤとキュウリ。

毎年確実に収穫できるカボチャとトマト。切っても切ってもまた大きくなり収穫できるネギ。カラスに狙われているスイカ。

毎年ほぼ同じ野菜を作っているのに連作障害をさけるために基本接ぎ木の苗を植えていますが、スイカは大玉なのに大きくならないので来年は植える場所を変えてみようと思います。



RI会長からのメッセージ（7月）

ロータリアン、ローターアクター、そして友人の皆さん

2020-21年度会長  
 HOLGER KNAACK



今は楽観的になるにはふさわしい時ではないと思われるかもしれませんが、今こそ楽観的になるべきなのです。ローターリーが誕生するはるか前から、人類は進歩と忍耐が試されるような重大な危機に立ち向かってきました。ローターリーができてからも、数多くの悲劇に直面してきましたが、人類はそれも乗り越えてきました。そして、ローターリーは常に世界を癒やすために尽力しています。

どんな危機も、再生と成長の機会になります。新型コロナウイルス感染症が拡大し始めたばかりの頃、アメリカ・サンディエゴで開催された国際協議会で「ローターリーは機会の扉を開く」という会長テーマを発表しました。これは私が長年にわたって信条としてきた言葉です。

ローターリーは入会したクラブが全てではなく、そのクラブを通して終わりなき機会の扉が開かれます。私たちは、自分たちや他の人のために機会を生み出すことが、良いことと信じています。ローターリーの奉仕活動はその規模の大小を問わず、支援を必要としている人々のために機会を生み出します。そして、ローターリーは、より豊かでより有意義な人生を、世界中の友と共に中核的価値観に基づいて送るための機会の扉を私たちに開くのです。

政府や公的組織は、ローターリーの活動にとって大きな意味合いを持つ公衆衛生のパートナーシップへの理解を深めつつあります。自粛生活の中で絆を求め、地域社会の助けになりたいと願う人々には、創立以来掲げてきたローターリーの理念を進んで受け入れられているのです。

これは喜ぶべきことではありませんが、これまで以上にローターリーが活躍する機会が増えているからといって、成功が約束されているわけではありません。世界は急速に変化しています。これは、今回の危機が始まる前からのことです。昼の例会からオンラインの会合への移行が始まり、Zoom（ウェブ会議システム）や Skype（インターネット電話サービス）で会合が行われるようになる前から、ソーシャルメディアで友情が培われ、旧交が温められ、交流が行われていました。若い人々には奉仕をしたいという強い欲求があります。しかし、ローターリーのような団体で重要な役割を任せてもらえるのかどうか、違う種類のつながりを築く方がより大きな影響を及ぼせるのではないかと、私たちは若い世代から問われています。今こそ、全ての選択肢を検討して、新しい方法を試し、未来のローターリーに向けて備える時です。

新型コロナ禍では誰もが変化に適応せざるを得ませんでした。これは良いことです。ローターリーの新しい行動計画では、適応力を鍛えるように呼び掛けていますが、適応するだけでは十分ではありません。この新しい時代の問題に対処し、世界が切実に必要とするローターリーになるためには、私たちは変わらなくてはなりません。それも、劇的に変わるのです。

それが、今年度だけでなく、今後のローターリーの課題です。理想を実現するための手だてを求めている若い世代の考えやエネルギー、意欲を受け入れ、新しい時代に合わせてローターリーを変えていけるかどうかは私たちにかかっています。これまでの活動をただそのままオンラインに移行するのではなく、デジタル時代に完全に適応した団体にならなくてはなりません。

世界はこれまで以上にローターリーを必要としています。今後何世代にもわたってローターリーが機会の扉を開いていくようにできるかどうか、それは私たち次第です。

次週のプログラム

第 2463 回

7 月 31 日

フリートーク

担当者 プログラム委員会

例会場 J R クレメントホテル高松